

指導と評価の年間計画（2008・H20年度）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
数学	図形演習	3	3	看護医療系受験のための数学ⅠAの解き方

到達目標	方程式・不等式、関数、三角比と三角関数、数列に関する基礎的な概念や原理・法則の理解を確かめ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
到達目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の】留意点	Ⅲコースには看護・医療系の専修学校等への進学を希望している生徒が多く、生徒たちの進路実現に向け、1年次及び2年次に履修した内容に関する定着をねらいとする演習科目の設置が必要である。そのために本科目は、次のような展開で学習内容の定着を目指す。 ① 1・2年次に履修した単元を基礎から再学習させる。 ② 内容によっては、中学時における単元も含めたプリント学習で補う。 ③ 基礎力の定着を見極め、実践的な問題を数多くこなさせる。 ④ 授業だけでは不十分であると判断される生徒に対しては、補習などで実践問題に取り組ませる。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
4	三角比	三角比の公式を利用する問題、正弦定理・余弦定理、面積問題など基本を確実に修得させる。	・4回の定期考査。 ・取り組み状況。 ・練習問題をどれだけ解いているか。	・授業への集中度。 ・基本項目の定着度。 ・応用力の伸長度。 ・疑問点、理解しがたい点等の処理。
5	集合と論理	集合、命題の意味を確実に理解させる。		
6	個数の処理	場合の数、順列、組合せ問題を修得させる。		
7				
8	確率	玉、サイコロ、数字、ジャンケン、くじなど色々な問題に取り組ませる。期待値。	・4回の定期考査。 ・取り組み状況。 ・練習問題をどれだけ解いているか。	・授業への集中度。 ・基本項目の定着度。 ・応用力の伸長度。 ・疑問点、理解しがたい点等の処理。
9	平面図形	チェバ・メネラウスの定理を基本として解く問題を中心に。		
10	総復習	パターン化された問題を数多くこなす。		
11	過去問の練習	入試問題など、時間が許す限り、多くの問題に当たる。		
12				
1	過去問の練習	入試問題など、時間が許す限り、多くの問題に当たる。	1・2学期と同じ。	1・2学期と同じ。
2				